



# 川湯の森病院

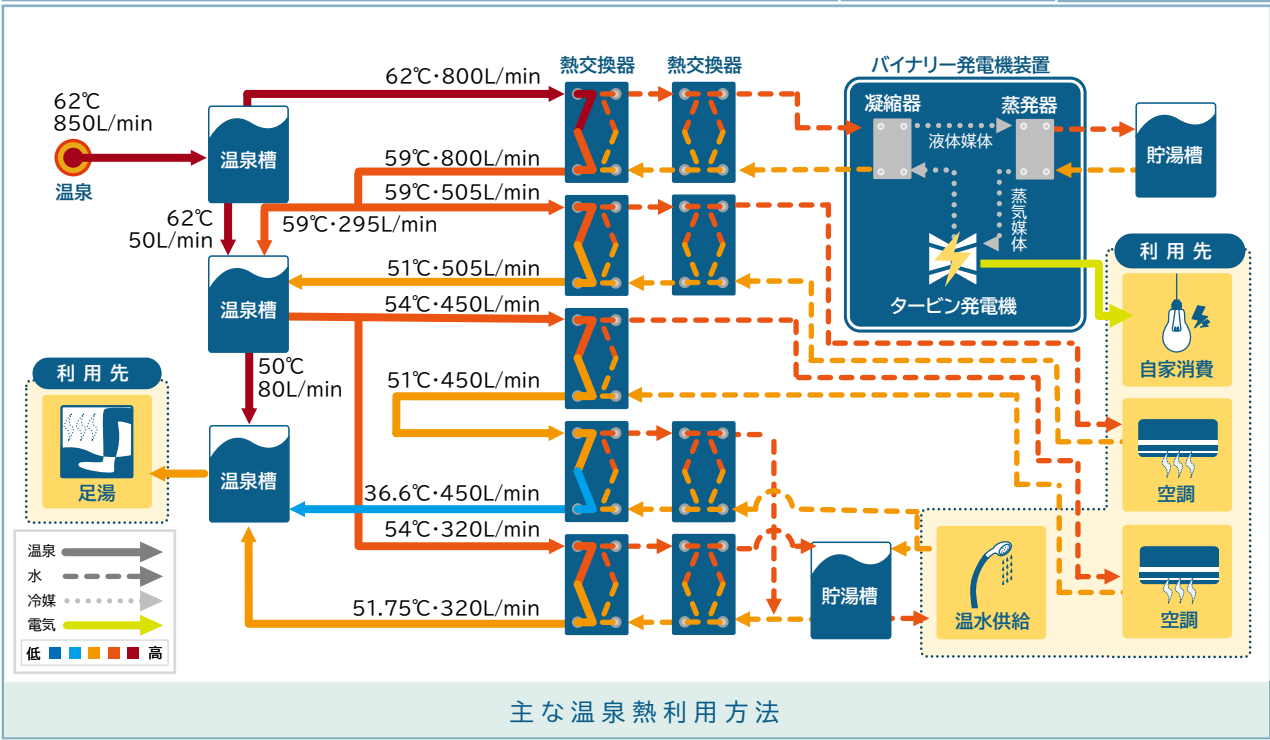


## 概要

温泉熱を利用してバイナリー発電を行い、電力は自家消費を行うと共に、二次利用として熱源水を作り、敷地内の病院建物、寮などの各施設での熱利用（浴室への温水供給、暖房、外気予熱、ビニールハウスの温度調整）を行っている（※外気予熱は冬期のみ）。  
なお、夏期の冷房はバイナリーの冷却水用熱源として地下水を活用している。

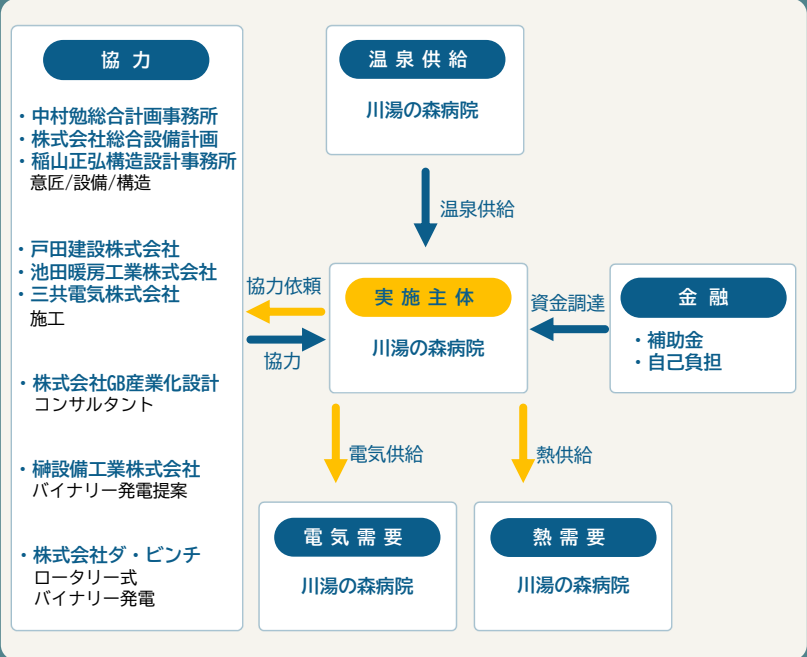


泉質	硫黄泉	CO <sub>2</sub> 排出量削減効果	エネルギーコスト削減効果
熱利用温度	63℃	1,476 t-CO <sub>2</sub> /年相当	3,900 万円/年相当
利用温泉	既存温泉	削減 ※1	削減 ※1
総事業費	2億7,500万円（一部補助金あり）		



※ 本事例は「平成29年度・30年度温泉熱等の有効活用等普及促進調査等委託業務」にて調査・整理した事例であり、掲載情報は調査当時のものであることから、詳細な状況は変更されている可能性があります。  
※ 1: CO<sub>2</sub> 排出量削減効果、エネルギーコスト削減効果は、発電量相当を購入した場合と比較して算出した推定値（二次利用による導入効果含む）です。

## 実施体制



## 事業検討の流れ

